

2014年9月30日

御嶽火山 2014年9月噴火で形成された火口分布と火砕流分布

2014年9月27日の噴火で、地獄谷の源頭部分に多数の火口が形成され、噴火初期には火砕流が発生した。一部の火口には小規模な火砕丘が形成されていることも確認した。9月27日の報道映像及び28日の上空観測（読売新聞社及び中日新聞社へりに同乗）をもとに、火口分布（27日及び28日形成）及び火砕流分布域（27日噴出）を推定した。

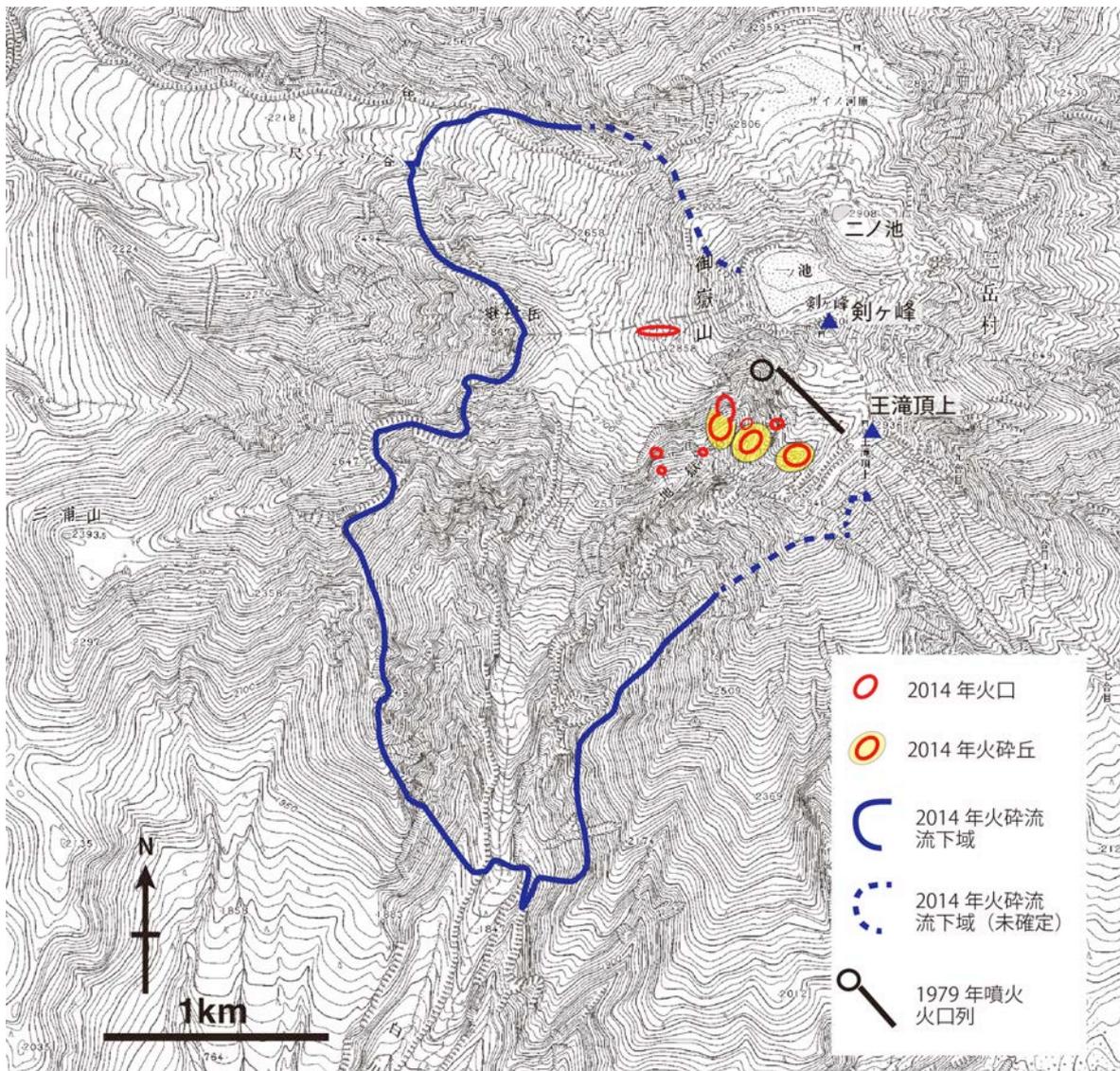


図1 御嶽火山の2014年9月噴火による火口・火砕丘及び火砕流の分布（暫定）
1979年噴火口列も示す。火砕流分布の東側は要検討。

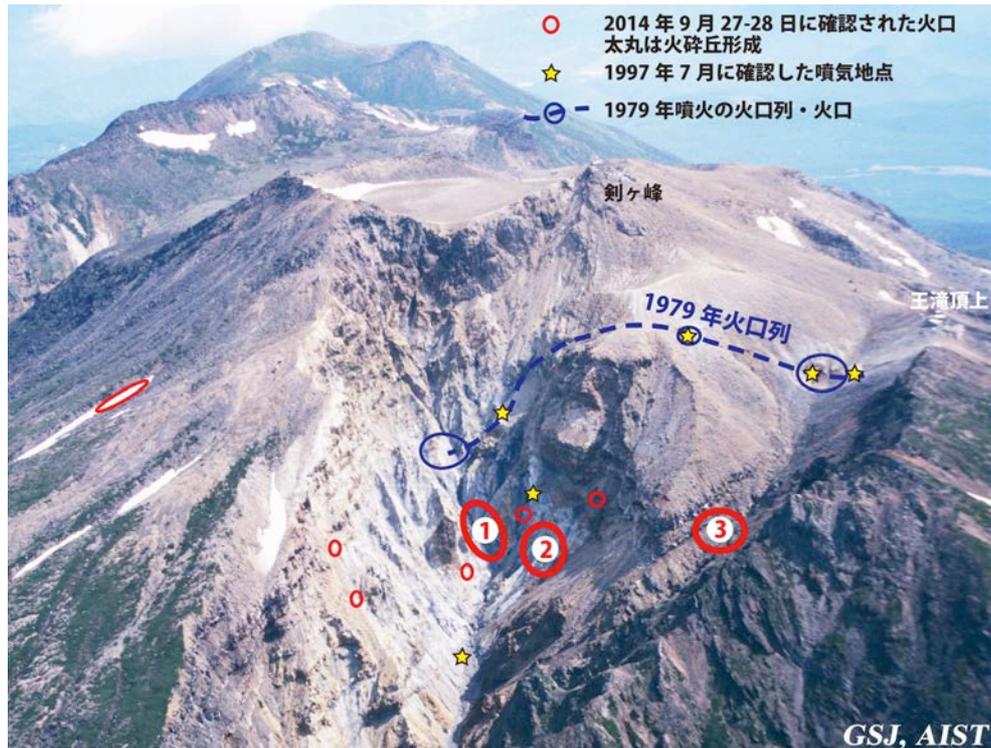


図2 2014年9月27-28日に確認された火口

1997年7月1日撮影写真に1979年噴火位置及び撮影時に確認された噴気地点を記入。
番号は火砕丘が形成された火口。



図3 2014年9月28日の地獄谷中心部の火口付近の写真

番号は図2参照 (9月28日11時25分撮影)。1はほぼ停止状態。読売新聞社ヘリより撮影。